

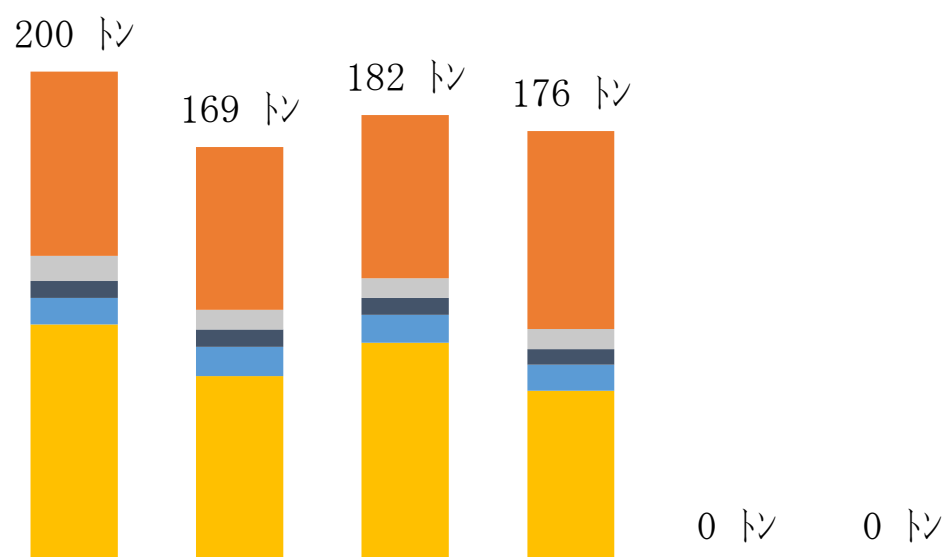
伊万里・有田消防組合

温室効果ガス排出量の推移

【参考】 基準年度 200 トンにおけるガスの構成比

C02	二酸化炭素	197.59 トン	...	98.87 %
CH4	メタン	0.12 トン	...	0.06 %
N2O	一酸化二窒素	1.66 トン	...	0.83 %
FHC	ハイドロフルオロカーボン	0.47 トン	...	0.24 %

( CH4 N2O FHCは C02の温室効果を基準に  
C02相当量に換算しています )



項目別 実績			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
			(基準年度)	15 % 削減	9 % 削減	12 % 削減	目標 4% 削減	目標 5% 削減
特殊用途車	ガソリン	給油量 [ L ]	22,144	19,718	20,858	25,853	-	-
		走行距離 [ km ]	107,256	88,765	93,880	119,155	-	-
		台数 [ 台 ]	13	13	13	13	-	-
	軽油	給油量 [ L ]	8,481	7,307	6,366	7,257	-	-
		走行距離 [ km ]	19,032	15,977	14,009	14,980	-	-
		台数 [ 台 ]	13	13	13	13	-	-
業務車	乗用車	給油量 [ L ]	2,797	2,276	2,387	2,435	-	-
		走行距離 [ km ]	33,523	25,820	29,228	31,955	-	-
		台数 [ 台 ]	3	3	3	4	-	-
	軽乗用車	給油量 [ L ]	1,372	1,006	828	858	-	-
		走行距離 [ km ]	16,664	12,410	10,691	11,820	-	-
		台数 [ 台 ]	4	4	4	4	-	-
燃料	ガソリン	使用量 [ L ]	412	389	360	546	-	-
	軽油	使用量 [ L ]	161	119	262	53	-	-
	灯油	使用量 [ L ]	2,179	2,365	2,156	1,924	-	-
ガス	LPガス	使用量 [ m <sup>3</sup> ]	1,176	1,325	1,475	1,212	-	-
	都市ガス	使用量 [ m <sup>3</sup> ]	1,419	1,434	749	1,208	-	-
電気		使用量 [ kWh ]	209,955	220,846	245,638	236,937	-	-

年度の目標：○

項目別 取組目標	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
<b>車 両</b>						
■ 走行ルート of 合理化、相乗り等、効率的な運用に努める。		○	○	○	○	
■ 急発進、急加速、空ふかしを抑制する。		○	○	○	○	
■ 経済走行（一般道40～60km、高速道路80km）を行う。		○	○	○	○	
■ 不要物の積載等を行わない。		○	○	○	○	
■ 駐車や長時間停車するときは、エンジンを切る。		○	○	○	○	
■ インターネット上の研修等を取り入れ、出張の一部削減を図る。				○	○	
■ 公共交通機関を積極的に利用する。						
■ 利用形態に応じて普通車から、軽自動車への買い替えを推進する。						
■ 更新時には、低公害車の導入に努める。		○	○	○	○	
<b>燃 料</b>						
■ エンジンの空ふかしを抑制する。		○	○	○	○	
■ ストープは複数人で使用する。		○	○	○	○	
<b>ガ ス</b>						
■ ガス給湯器の設定温度を低くし、不要時は消灯する。		○	○	○	○	
■ 入浴は間隔を空けず、追い炊きをしない。		○	○	○	○	
■ シャワーの使用時間を少なくする。		○	○	○	○	
■ 圧力鍋や電子レンジを活用する等、調理時間の短縮に努める。		○	○	○	○	
<b>電 気</b>						
■ 必要な照明のみを点灯し、不必要な照明は消灯する。		○	○	○	○	
■ 照明器具は定期的に清掃する。		○	○	○	○	
■ 不必要時のOA機器等の電源断 若しくは省電力モードの有効活用を図る。		○	○	○	○	
■ 空調は適切な使用期間及び適正温度 （冷房は概ね28℃、暖房は概ね19℃）に設定する。		○	○	○	○	
■ 空調機器はこまめな清掃を心がける。		○	○	○	○	
■ カーテン等を活用し、空調の効率化に努める。		○	○	○	○	
■ クールビズ、ウォームビズに取り組む。		○	○	○	○	
■ 緑のカーテンの取り組みを推進する。		○	○	○	○	
■ 冷蔵庫の効率的使用を図る。		○	○	○	○	
■ LEDをはじめとした高効率照明などのエネルギー効率の良い製品の導入を図る。		○	○	○	○	
■ 省エネルギー型機器、設備等の導入を図る。		○	○	○	○	
■ 太陽光発電や太陽熱温水器等の自然エネルギー、廃熱等の有効利用を検討する。						

環境に配慮した職場づくり		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
<b>節水の推進</b> 水資源の保全及び浄化に必要なエネルギーの消費抑制のため、庁舎等の節水の推進を図る。							
■ 節水型機器の導入に努める。	/				○	○	
■ 水道圧の調整を図る。		○	○	○	○	○	
■ 日常的な節水を励行する。		○	○	○	○	○	
<b>リデュース 『目標』物を捨てないオフィスづくり</b>							
用紙類の使用量の削減							
■ 両面コピー、両面印刷、縮小コピーを活用する。	/	○	○	○	○	○	
■ 印刷、コピーは必要最小限で行い、 ミスプリント防止に努める。		○	○	○	○	○	
■ 資料の簡素化、プレゼンテーションソフトを有効活用する。		○	○	○	○	○	
■ 電子メール、グループウェアを積極的に利用する。		○	○	○	○	○	
■ 古封筒を再利用する。		○	○	○	○	○	
■  unnecessary FAX送付状は省略する。		○	○	○	○	○	
■ ペーパーレス化、電子化を推進する。		○	○	○	○	○	
ゴミの減量化							
■ 分別収集を徹底する。	/	○	○	○	○	○	
■ 紙コップ、使い捨ての弁当容器は使用しないように努める。		○	○	○	○	○	
■ 物品の発注時には簡易包装を推進する。		○	○	○	○	○	
■ ノーカーボン紙、感熱紙などの 再生できない用紙類の使用を控える。		○	○	○	○	○	
■ 詰替え可能品（リターナブル製品）を活用する。		○	○	○	○	○	
<b>リユース 『目標』物を大切に使うオフィスづくり</b>							
■ 事務用品、電気製品等は修理するなど長期使用に努める。	/	○	○	○	○	○	
■ 不用品は所管換え等により再使用する。		○	○	○	○	○	
<b>リサイクル 『目標』物を考えるオフィスづくり</b>							
ごみの分別、再資源化の推進							
■ 古紙回収ボックス等により紙類の再資源化を図る。	/	○	○	○	○	○	
■ 乾電池を回収することにより再資源化を図る。		○	○	○	○	○	
■ 缶、瓶、ペットボトルの分別を徹底する。		○	○	○	○	○	
■ 所属所において生ごみ等の堆肥化を推進する。							
環境に配慮した製品等の購入・使用							
■ 環境負荷の少ない製品（エコマーク、グリーンマーク、 再生紙使用マーク、国際エネルギースターロゴ製品等） 及びリサイクルルートの確立されている製品の購入、 使用を推進する。	/	○	○	○	○	○	
■ コピー用紙は、「総合評価値が80%以上」、 「古紙バルブ配合率ができるだけ高い」、 「バージンバルブの合法性の担保」、 「できるだけ簡易包装されている」を基準として購入する。		○	○	○	○	○	

年度の目標：○

職員一人ひとりの 環境保全活動の推進		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
職員一人ひとりの環境保全活動への積極的な取り組み 『目標』環境にやさしい職場の育成							
■ 環境に関する情報の提供を積極的に行う。		○	○	○	○		
■ 地域等の環境保全活動への参加を奨励する。		○	○	○	○		
職員一人ひとりの取り組み 『目標』環境にやさしい行動							
積極的な取組							
■ 自主的、積極的な取組を実践する。		○	○	○	○		
■ 環境に対する負荷の低減等に関する情報収集を行い、研修、講演会へ積極的に参加する。							
■ エコドライブ、ノーカーデーに取り組む。		○	○	○	○		
■ ノー残業デーに積極的に取り組む。		○	○	○	○		
■ 所属等で実施する環境に対する不可の低減のための取り組みに、積極的に参加する。		○	○	○	○		
職員提案							
■ 所属等における取組の具体的提案を行う。		○	○	○	○		
■ 個人としての取組の具体的な提案を行う。					○		
■ 本計画の推進に関する具体的提案を行う。		○	○	○	○		
地域における環境保全活動の実践							
■ 地域における一斉美化活動など、環境保全活動に積極的に参加する。		○	○	○	○		
■ 家庭において、省エネルギー、省資源ごみの分別、排出量の削減に努める。		○	○	○	○		